

7月17日

比叡山

平尾繁和

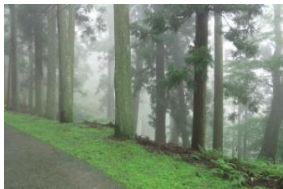
山名	比叡山	山行名	例会
ルート	東塔本坂登山口～東塔～大比叡～東塔～東塔本坂登山口		
山行日	2020年7月17日(金)	天候	小雨のち曇り
参加者	CL:平尾 SL:西川洋 女性7名、男性3名 A班:伊藤多、倉光、佐々木、和田、B班:河野、玉井、玉置、牧之瀬 /10名		
ルート概略	コースタイム		
省略	地名	時:分	地名 時:分
	京田辺他	発 7:30	東塔 着 12:05 発 12:45
	坂本	着 8:40 発 9:00	坂本 着 14:15 発 14:25
	東塔	着 10:45 発 10:50	着 発
	最高点	着 11:25 発 11:30	
<p>「低山 with 歴史散歩」と名付け新型コロナウイルスによる自粛解除後に新たに提案した例会山行の第2回目。比叡山延暦寺と日吉大社（以前は日吉社）は明治初めの廃仏毀釈までは関係が深く、坂本には延暦寺の里坊がいくつもあります。かつて多くの宗派の創始者を輩出した延暦寺へ、僧たちが歩いたことであろう延暦寺正面の参詣道、東塔本坂を根本中堂まで25丁の道のりを歩きました。滋賀県側からの比叡山はみなさん初めてのようでした。曇りの予報に反し出発から小糠雨、駐車場で準備体操をしてからそのまま歩き出す。日吉大社横の長い石段をあがり大宮川林道を右に見送り、さらにすすみ石段をつめて南善坊前の展望台につく。晴れていれば琵琶湖と湖東の山々が一望でき、ぜひみなさんに見てもらいたかったが、ガスがかかり見えず残念でした。衣服調整などしてスタート、石段の上部から山道に合流する。樹林のなかをゆっくりと登っていくが、雨は止まず途中で傘や雨具をとりだす。亀塔からコンクリート舗装の急坂を登り、ガスで幻想的な雰囲気のある杉木立を抜け東塔に到着。無料休憩所に荷物をおき比叡山最高峰、一等三角点大比叡山頂（848m）まで往復した。山頂の手前には幾株かクリンソウが実をつけていた。「山頂三角点はどこですか」と尋ねられた兵庫からの女性2人連れに写真を撮ってもらう。休憩所に戻り昼食をとり、下山にかかる。やっと雨があがる。平日のためか行違った登山者は3人と、先ほどの兵庫の2人連れのみ。復路では、途中ゴマギの葉の香を嗅いだり、ヤブムラサキの葉の感触を確かめたりした。伝教大師が訪ねてきた母と拝謁した地に後に宮が立てられていたという花摘堂跡へまわり、記念撮影をした。雨に誘われてか大きなカエル（日本には43種類のカエルがいてヒキガエルの仲間かと思われる）や1cmほどの小さなカエルを見かけた。久々に顔を見る人、1年ぶりの山行という人、昨年新入会の人と予定以上の多くの参加をいただき、雨に降られたものの実施ができてよかった。第1回の天王山は、雨のため中止になったが機会をみて実施の予定。今後も近場の山での低山歩きを毎月続け、体力維持・体力づくりに役立てられればと思います。最後にひとつ、この時期の山行はどこでもヒル対策は必要と痛感しました。被害者が3名、私も帰宅後ふくらはぎから出血、今年初の献血でした。</p>			
ヒヤリハット	なし		



花摘堂跡



大比叡山頂



霧のなかの杉木立



25丁(東塔)



クリンソウ



山頂

一言感想

伊藤 多恵子

○初心者と高齢者にやさしい企画をありがとうございます！巣ごもりの長かった人にもお勧めです。10日の天王山は雨で流れましたが、17日は坂本から登る比叡山。京都側からしか登ったことがなかったので行ってみたいと参加。ふもとに日吉大社や西教寺を構えたいい登山口でした。曇りの予報に反して、朝から小雨がしとしと…。おかげで木々も草も苔も大きな蛙も蛭もみんな元気。枝を払われてすっきりと立ち並ぶ杉木立もガスにかすんで幻想的です。初めて訪れた最高点(848m)は、阿弥陀堂から上に登って行ったところにあるおへそのような小さな丘の上でした。修学院から登ってきたという神戸の女性二人に「頂上はどこですか」と尋ねられた、そのすぐ横でした。足元には花の終わったクリン草が。下りは、NさんとTさんの楽しいおしゃべりがBGMでした。

倉光 展子

○比叡山には、山友会例会として、また個人山行として、何度も登ったが、大体は、きらら坂から登って、坂本方面へ降りてくるといったコースだった。2002年12月、主催者として登った。寒い日だった。塔頭の寺の庭先を借りてお弁当を食べたが、皆さんに豚汁を御馳走(?)しようと、お坊さんに、凶々しくお水をお願いしたところ、大きなやかんにたくさんお湯を沸かして下さり、感激したことだった。今回は坂本から登り、坂本に降りてくるといったコースだった。小糠雨が降っており、登山には影響はなかったが、どうしても行程はシンプルになった。大比叡の三角点を目指して登り、坂本へ下りて、ふもとのお寺見物を省略して帰ってきた。しかしコロナ禍の中、こんな機会に恵まれ、幸いなことだった。ありがとうございました。

玉置 安世

○前日の天気予報では 20%だったのに朝から出かける時から雨、現地に行ってもザーザー降りではなかったものの雨が降ってました。雨の山もそれはそれでいいですね。比叡山の山頂？とやらに初めて行きました。ちょっと高台で分かりにくいですね。猿や鹿や大きい蛙やら山ヒルやらに出会いました。ヒル被害者が・山行が中止になっていたかもしれないところ行けて良かったです。みなさんありがとうございました。楽しかったです。

和田 千恵

○昼ご飯を食べているときに、おむすびの海苔と思った小さい黒いものが蛭でした！吸われなくて良かったとほっとしたものでした。登りの雨、下りの曇り、高速道路の帰路に晴れ間で、ちょっと残念でしたが、渋滞なく帰宅。すぐにお風呂に入る前に鏡を見たら、何と！首に赤黒い跡を見つけがっかりでした。

※ 参考

比叡山 延暦寺

延暦寺は伝教大師最澄が 788 年に開いた天台宗の総本山で、多くの高僧を輩出した日本仏教の母山ともいわれている。山上には、東塔・西塔・横川の三塔からなる伽藍が広がる。1994 年世界文化遺産に認定された。東塔は延暦寺発祥の地で三塔の中心で、国宝の根本中堂には開創以来 1200 年の時を超え灯る「不滅の法灯」がある。延暦寺正面の参詣道、東塔本坂は日吉大社の南側の石段から始まり根本中堂まで 25 丁。重要文化財（重文）の大講堂、戒壇院等があります。

日吉大社

全国約 3,800 社ある日吉・日枝・山王神社の総本社。通称山王権現とも呼ばれている。猿を神の使いである神猿（まさる）とし、西本宮と東本宮を中心とする 40 万 m²の境内は国の史跡に指定されている。平安時代中期には八王子社の奥に神宮寺が立てられるなど、神仏習合の動きのなかで延暦寺と次第に一体化し、参道沿いに延暦寺の里坊がつくられた。1571 年の織田信長の比叡山焼き討ちにより日吉社も全て焼かれて消失し、現在の建物は安土桃山時代以降に再建されたもの。1868 年に神仏分離令が出ると、日吉社は仏教色を一掃し延暦寺から独立し社名を日吉大社とした。元比叡山の里坊竹林院だった旧竹林院庭園が境内入口北側にある。

西教寺

天台真盛宗総本山で聖徳太子が恩師である高麗僧のために創建したと伝えられている。本堂は江戸時代創建の総檜の入母屋造で重文、同じく重文の客殿はもと豊臣秀吉の伏見城にあった旧殿。明智光秀ゆかりの菩提寺で、妻熙子（ひろこ）や一族の墓が残っている。総門は光秀の居城坂本城の城門を移築したといわれている。新たに辞世の碑ができています。